

## <ドローン（マルチコプター）の実技試験内容>

### <ホバリング>

機首を前方に向けたまま2m上昇、2秒間ホバリング後、10m前進、ポイント1直上で2秒間ホバリング後に左10m横移動、ポイント2直上で2秒間ホバリング後、右10m横移動、ポイント1直上で2秒間ホバリング後、10m後退、2秒間ホバリング後、着陸。

#### ●減点（大幅減点／-1）

##### 1.離着陸

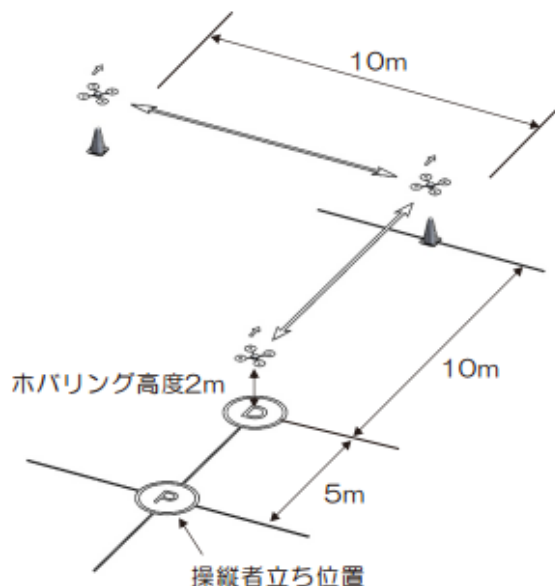
上昇下降速度が一定でなかった。  
 上昇下降経路が地表と垂直でなかった。  
 ※飛行経路が30センチ以上ずれた場合、大幅減点となる。

##### 2.ホバリング

2mの高度を維持できなかった。  
 前後、左右、上下、機首方向の移動があった。  
 2秒間停止できなかった。  
 機体に揺れがあった。  
 ※ホバリング位置が50センチ以上ずれた場合、大幅減点となる。

##### 3.移動

飛行高度変化があった。  
 一定の飛行速度を保つ事ができなかった。  
 飛行経路からずれた。  
 ※速度変化が大きい、高度変化が50センチ以上、飛行経路が50センチ以上ずれた場合、大幅減点となる。



### <720° ビルエット>

機首を前方に向けたまま2m上昇、2秒間ホバリング後、右又は左に2回転ビルエットを行う、2秒間ホバリング後、着陸。

#### ●減点（大幅減点／-2）

##### 1.離着陸

上昇下降速度が一定でなかった。  
 上昇下降経路が地表と垂直でなかった。  
 ※飛行経路が30センチ以上ずれた場合、大幅減点となる。

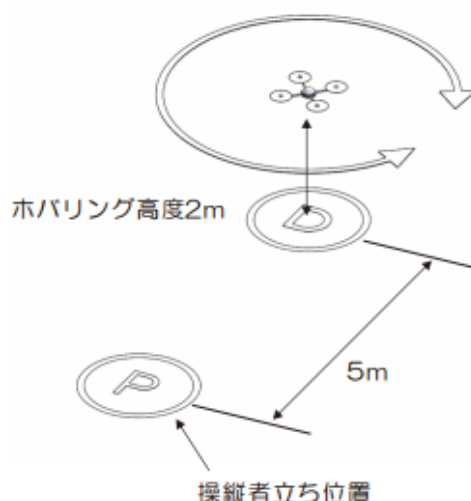
##### 2.ホバリング

2mの高度を維持できなかった。  
 前後、左右、上下、機首方向の移動があった。  
 2秒間停止できなかった。  
 機体に揺れがあった。  
 ※ホバリング位置が50センチ以上ずれた場合、大幅減点となる。

##### 3.ビルエット

回転中、高度変化があった。  
 一定の回転速度を保つ事ができなかった。  
 機体中心線がずれた。

※回転速度変化が大きい、機体中心線のずれが50センチ以上あった場合、大幅減点となる。



### <8字飛行>

機首を前方に向けたまま2m上昇、2秒間ホバリング後、上空へ向かい高度約10mで8字飛行を2回行います。8字飛行終了後、離陸ポイントへ戻り、機首を前方に向け2秒間ホバリング後、着陸。  
※左右の旋回ポイントを2回づつ回ります。

#### ●減点

##### 1.離着陸

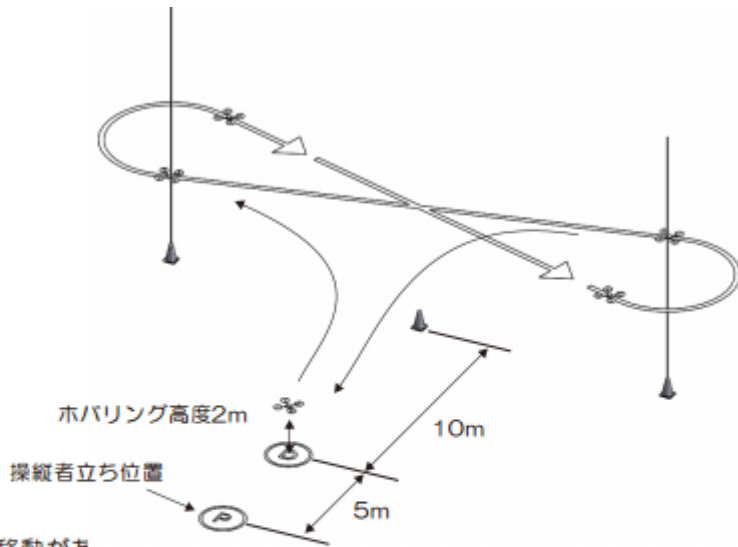
上昇下降速度が一定でなかった。  
上昇下降経路が地表と垂直でなかった。  
※飛行経路が30センチ以上ずれた場合、大幅減点となる。  
(大幅減点/−1)

##### 2.ホバリング

2mの高度を維持できなかった。  
前後、左右、上下、機首方向の移動があった。  
機体に揺れがあった。  
※ホバリング位置が50センチ以上ずれた場合、大幅減点となる。  
(大幅減点/−1)

##### 3.8字飛行

一定の速度、高度を維持できなかった。  
左右の旋回半径を一定に保てなかった。  
進行方向に対し、機首を一定の方向に維持できなかった。  
※スムーズで安定した8字飛行ができなかった場合、大幅減点となる。  
(大幅減点/−3)



### <上空場周飛行>

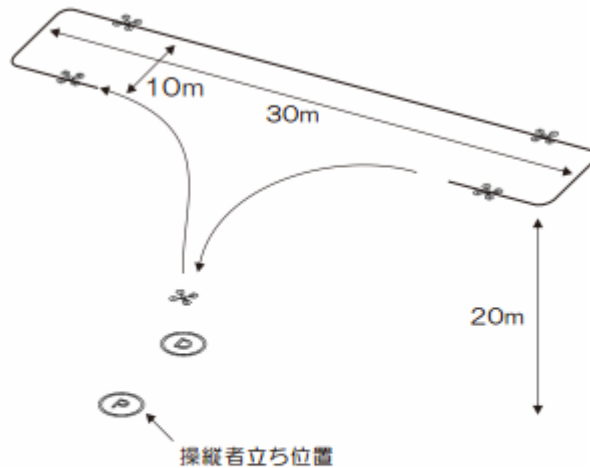
離陸し、前進上昇しながら高度20mの場周飛行に入ります。センターから15mほどの位置で90°ヨー軸旋回に入ります。10m前進後、90°ヨー軸旋回に入ります。30m前進後、90°ヨー軸旋回に入ります。10m前進後、前進降下しながら離陸地点上空で瞬間停止後、着陸します。

#### ●減点

##### 1.上空場周飛行

上昇下降速度が一定でなかった。  
場周飛行経路が正確でなかった。  
一定の速度、高度を維持できなかった。  
スムーズで安定した飛行ができなかった。

※飛行経路が5m以上ずれた場合、大幅減点となる。  
(大幅減点/−3)



- 1.飛行試験は原則として風速5m/s以下、雨の降っていない状況で行います。
- 2.受講者に1名の助手が付き、演技ごと「スタート・フィニッシュ」のコールをして下さい。  
※助手は受講者に演技、環境、状況などのアドバイスができます。
- 3.採点は2名の審査員で行います。10点満点0.5点刻
- 4.演技は10分で行って下さい。
- 5.演技ごとの平均得点(3名平均)6点以下、タイムオーバーは不合格となります。

<オートパイロット設定>

試験官の指定する飛行コースを設定する。

○ 採点

オートパイロットで正確に飛行することができなければ失格となります。

<離脱>

試験官の指定でオートパイロットから離脱、マニュアルでスムーズに着陸地点へ戻す。

○ 採点

安全にマニュアル操作で着陸できなければ失格となります。